

請 願 文 書 表

受 理 番 号	第 1 2 号
受 理 年 月 日	平成 2 9 年 8 月 2 3 日
件 名	「核兵器禁止条約の締結を求める意見書」を政府に送付することを求める 請願
請願者の住所 及び氏名	みどり市笠懸町阿左美2683-17 東毛民主商工会 代表 廣田 明央
請 願 の 要 旨	<p><b>【請願趣旨】</b></p> <p>7月7日、国連会議で「核兵器禁止条約」が採択された。人類史上はじめて核兵器を法的に禁止する条約が、国連加盟国のおよそ3分の2を占める122か国の賛同で生まれたことは、核兵器廃絶にむけた国際社会の明確な決意が示されたという点で画期的なことである。</p> <p>しかし、残念なことにわが日本政府は、この重要な会議に参加せず、多くの国民・被爆者の願いに背を向けた。</p> <p>今15,000発近くの核兵器が存在し、核兵器をめぐる国際情勢は緊張感を高めている。</p> <p>日本政府は、核保有国と非核保有国との橋渡しを務める、と、明言している。</p> <p>日本政府がこれに本気で取り組み、核廃絶へのイニシアチブをとることを世界は期待している。</p> <p>「非核平和宣言都市」である桐生市と桐生市議会こそ、日本政府に対し、アメリカの「核の傘」から離脱し、核保有国と非核保有国との橋渡しに本気で取り組むよう進言できる立場ではないか。</p> <p>戦争体験者や被爆者は年々高齢化していくが、日本政府がこの条約を締結するならば、平和のバトンを未来に途切れることなくつなげていけるのではないか。</p> <p>以上の趣旨から、下記事項について請願するものである。</p> <p><b>【請願項目】</b></p> <p>1、「核兵器禁止条約」の締結を求める意見書を政府に送付してください。</p>
紹 介 議 員	関口 直久、渡辺 恒
付 託 委 員 会	総務委員会
審 査 結 果	